

科目名	地域設計 I	英語科目名	Regional Design I	
開講年度・学期	26 年度・前期	対象学科・専攻・学年	複合工学専攻1年	
授業形態	演習	必修 or 選択	選択	
単位数	2単位	単位種類	学習単位(30+15)h	
担当教員	橋本彼路子	居室(もしくは所属)	建築学科棟2階	
電話	内線 830	E-mail	hashimoto@oyama-ct.ac.jp	
授業の到達目標	授業到達目標との対応			
		小山高専の教育方針	学習・教育目標(JABEE)	JABEE 基準要件
	1. 地域・地区の分析方法を説明できる	④	A	d-1
	2. 地域・地区の分析を通じ、必要機能とデザインの整合性等を含め、まちづくりの観点から設計ができる。	②④	A,B	d-1, e
	3. 多様な居住のスタイルを説明できる	④⑥	A,E	d-1, d-4
	4. 居住スタイルに伴った新しい住まいの形態を説明できる	④⑥	A,E	d-1, d-4
	5. 地域特性を加味した居住スタイルと形態を提案できる	④⑥	A,E,O	d-1, d-4
6. 自身の提案を、図面と模型のプレゼンテーションによつて的確に表現できる	②⑥	B	e	
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法				
達成目標 1～6 について、口頭発表及び提出作品の内容を評価し、60%以上の成績で達成とする。				
評価方法				
課題提出物70%、レポート30%				
授業内容	授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間	
1. 地域に住まうということ 課題説明			4	
2. 多様な居住スタイルの実例を知る: コレクティブハウス、グループリビング、古 民家再生、ホスピス、終の住まい	授業で得た知識と地域の分析を基に、レポートを毎週 提出する。		6	
3. 地域に住まうための提案をする	平面図、立面図、断面図、模型などを作製し、毎週提出 する。		15	
4. プレゼンテーション	プレゼンテーションボードを作成し提出する		5	
5. 発表・講評				
自学自習時間合計			30	
キーワード	多様性、地域性、居住スタイル、プレゼンテーション			
教科書	なし			
参考書				
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	インテリアデザイン、建築計画 I A、建築計画 II、建築計画 III、建築法 規			
現学年の関連科目	居住地計画論、環境デザイン論			
次年度以降の関連科目	バリアフリーデザイン論			
連絡事項				
家族の構成、社会状況、人々の要求は日々変化をしている。住まい方も世界中でさまざまな形態が生まれている。住環境の多様な価値観と人々のニーズを理解し、それらを満足する提案をする。				
シラバス作成年月日	2014 年 2 月 25 日			